

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 16 日

事務事業名		国指定史跡管理委託事業		事業区分		担当	
				新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	020501000897
政策体系上の位置付け							
総合計画の施策名		0205 文化財の保存活用				所属課	090601 文化財課
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				課長名	
施策名		05 文化財の保存活用				グループ	文化財G
手段名		01 ①文化財の保存				担当者名	
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	10	06	04	01	00	文化財保護事業
法令根拠	文化財保護法			単年度繰返し (年度~)			
				☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>◆国指定史跡真壁城跡の除草 (87,000㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託：年2回の除草作業 (6~11月) ○借上：真壁城跡土地賃借料 (5件) <p>◆国指定史跡上野原瓦窯跡の除草 (15,000㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託 年1回の除草作業 (6~7月) <p>◆R2年度予算 史跡等の管理委託料、土地借上げ料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真壁城跡管理委託料3,025,000円 ・上野原瓦窯跡清掃委託 304,700円 ・真壁城跡土地賃借料5件分468,814円 ・清掃謝礼 (八柱神社等4箇所) 55,000円 	<p>業務内容</p> <p>文化財敷地の除草や倒木処理等の業務委託による管理。 史跡景観保護地 (民有地) の借り上げ、管理地の定期巡回、埋蔵文化財収蔵庫の管理</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
国指定史跡真壁城跡内の除草の管理委託 (87,000㎡)	管理委託面積	㎡	102,800.00	102,800.00	102,800.00	102,800.00	102,800.00
国指定上野原瓦窯跡の除草及び管理委託 (15,000㎡)	委託回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
その他史跡等の管理業務に関する委託 景観保護地の借上げ (5件)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
国史跡真壁城跡指定地内 指定文化財等の文化財	指定面積	㎡	140,800.00	140,800.00	140,800.00	14,800.00	140,800.00
	実施面積	㎡	102,800.00	102,800.00	102,800.00	102,800.00	102,800.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
国史跡真壁城跡指定地内等の文化財について、 景観保全と安全管理を行い、見学しやすくする	史跡整備完了面積	㎡	125,000.00	125,000.00	125,000.00	125,000.00	125,000.00
	史跡整備完了地区	地区	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	見学者数	人	10,000.00	10,100.00	10,100.00	10,150.00	10,150.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

			30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量	
			(実績)	(実績)	(計画)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	8,738	7,994	3,854	0
		事業費計(A)	千円	8,738	7,994	3,854	0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

01年度事業費 実績 (千円)

02年度事業費 予算 (千円)

08 報償費	55	08 報償費	55
13 委託料	7,470	13 委託料	3,330
14 使用料及び賃借料	469	14 使用料及び賃借料	469
合計		合計	
			7,994
			3,854

事務事業名	国指定史跡管理委託事業	事務事業No.	20501000897	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
史跡真壁城跡は、国の指定に伴い、指定地の管理が必要になったため。 上野原瓦窯跡は、国の指定に伴い、指定地の管理が必要になったため。 管理は、開始時期が不明であるが、指定とともに管理が開始されたものと推測される。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
周辺の耕作地所有から害虫の発生源となるため、除草を頻繁にするよう要望がある。一般公開するにあたって、除草・倒木伐採等の危険防止を要望されている。イノシシ被害について、ハーブ類の効能に関する問合せ、株分けの要望があり、いずれも対応している。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 史跡の安全管理と活用につながる
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の所有地である	
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 真壁城跡管理は、ハーブ類植栽・防柵設置による獣害防除を進め、除草等管理費の削減を向上させる。名勝桜川の管理は測量基盤図作成により改善計画を定める。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 安全管理が出来ないため公開活用に支障が出る。
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似業務がない
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 除草、獣害についてはハーブ類を有効に繁茂・活用すれば、雑草とハーブを置き換えることで除草管理費を削減でき、イメージアップにも繋がる。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 史跡は市の所有地である。他の管理地も国民共有の文化財を保護する観点から公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	真壁城跡等の管理については、ハーブを活用し、防柵を構築することで獣害を防ぐことができるようになってきている。 ハーブ植栽等を増やすことで、除草管理費の削減、イメージ向上、イノシシ防除等の向上をはかる。																								
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
⇒																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加		○													
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
	○																									
課題：イノシシ対策が急務であるが、ハーブ植栽や防護柵設置とも途上であり、完全に防げていない。 解決策：植栽や獣害の管理については、農林課と情報を共有し、効果的な手法をとる。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ④																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>